

大船渡市観光ビジョン（案）に対する意見の概要と市の考え方について

市では、平成26年度から32年度までを計画期間とする「大船渡市観光ビジョン案」について、平成26年8月29日（金）から9月12日（金）まで市政モニターからの意見募集を行いました。計13件：28項目（パブリックコメント3件：7項目、市政モニター10件：21項目のご意見をいただきました。

ご意見等の概要とそれに対する市の考え方は次の表のとおりです。

1 パブリックコメント（3件：7項目）

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
1	計画全体 基本方針2(8)	<p>観光事業を通じて交流人口と地域の復興が達成され賑わいを創って行く、その考えに基づいたビジョンに大いに賛同いたします。詳細に渡って多方面への観光開発事業にもその実現を期待するところです。</p> <p>わたくし自身観光業に従事して今まで感じてきたことは、観光のコンセプトが決められなく統一感がなかったと思います。必要なことは地域のアイデンティティー(CI)を決めコンセプトやテーマをブラッシュアップしていくことだと考えております。</p> <p>私ども気仙海の歴史文化研究会から「コロンブスが目指した港・黄金王国大船渡」このコンセプトに基づいた企画書を添付いたしますので、今後の観光振興に役立てていただければと提出させていただきます。</p>	<p>ご指摘のとおりと考えており、観光振興を推進するため、ビジョン案に掲げた当市の現状及び課題を踏まえ、基本理念に基づく将来像の実現に向けて、市民・事業者・市が役割分担と連携のもとに各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。</p>
2	基本方針2(5)	<p>野々田埠頭に観光客案内所を兼ねた「郷土芸能紹介展示館」を建設すべき。</p> <p><構想></p> <p>大船渡は海の玄関口をもっている。陸路は気仙坂を七坂も八坂も越えてくるが、海上交通は水平移動によって、天然の良港に導いてくれる。最近は大規模クルーズ船の入港が盛んとなってその対応におおわらわとなっているように見受けられる。その理由の一つには、対応すべき施設がないことであり、行事のたびごとにテントの設営や機材の搬入、かたづけなどの作業がともなうからである。そこで、思い切って気仙観光発展の観点から、野々田埠頭に観光案内所を兼ね備えた「郷土芸能展示館」を建設してはいかがであろうか。郷土芸能を主体とした館としたい訳は、岩手県内で気仙地方は数多くの優れた芸能が保存されてきていることから、それらを一同にして会して映像で見られるような施設をもちたいからである。あわせて、津波の記憶を留めるための祈念塔を掲げる。堅牢な造りとし、津波の際の非難、監視塔としての役割も兼ねる。</p> <p style="text-align: center;">1</p>	<p>ご指摘のとおり、観光案内機能を有した施設のニーズは把握してはいましたが、現在進められております「津波復興拠点整備事業」との調整を含め、今後、総合的に検討して参ります。</p> <p>また、基本方針2の(5)の主な取組に郷土芸能を展示紹介する方法を検討することとして修正いたします。</p>

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
	同上	<p><内容> たとえば、岩手芸能で優れたものとして剣舞があり20団体もある。獅子踊りも15団体もある。これらの芸能は鎮魂と豊穰を祈願する芸能で、すでに夜の浜辺での奉納は深い感動をあたえている。さらに、権現様や梯子虎舞などを加えれば相当のかずとなる。ほかにも、七福神舞、田植え踊り・曲祿などもあるが、これらは神社の祭典か郷土芸能発表会でないと見られない。観光拠点の一つとして気仙芸能のすばらしさを映像によって鑑賞していただける場としたい。大船渡湾内の景観と珊瑚島、尾崎半島の三山「尾崎・照摩・琴平」など、今出山・五葉山の遠望も楽しむことができる。関係者ばかりだけではなく、芸能研究者や後継者育成の場としての利用も考えられる。浜辺での異例の芸能奉納は灯籠流しや行灯七夕などとの組み合わせにより賑わうであろうし、花火大会などのお客様への接待の場ともなろう。基石海岸は最高の眺望の場所である。</p>	同上
3	基本方針5(2) 基本方針6(2)	<p>早急に観光資源マップの作成の検討とガイド養成講座を継続しておこなうべき。 さて、次はどこにご案内したらよいのだろうか。まず、大船渡に来る方は、国道45号線から見渡せる津波記念塔を目指して来て、郷土芸能館で一服してもらおう。長安寺か・関谷洞窟・五葉山のオアシスか。早急に観光資源マップの作成と検討とガイド養成講座を継続しておこなうべきであろう。資源は掘り起こさなければ輝きを増さないものである。大船渡市のすぐれた観光資源をどのように生かすかの研究が望まれる。</p>	ご指摘のとおり、観光案内マップやガイド養成講座については実施の必要性を認めております。これについては案の記載内容に基づき推進して参ります。
4	基本方針2(3)	<p>気仙の海は「静と動」の二つの魅力を秘めた「可能性の海」であり、1. 静穏性に着目し、湾内でマリンスポーツの振興をはかる。 ・ヨット競技・カヌー競技・ペーロン競走・カッター競技などのレースを季節ごとに企画して実施する。 ・市と民間（NPO）の共同で企画運営をする。 ・先進的な他県・市からまなぶ。 ・大船渡「恒例イベント」化をはかる。（例「ペーロン甲子園」） ・ダイビングの基礎を学ぶ。（例「ポートサイドマラソン」） ・将来的にマリンスポーツの指導者の養成をはかる。</p>	ご指摘の内容については、基本方針2の(3)に主な取組として「穏やかな海での海洋レクリエーション活動の検討」を追加いたします。

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
5	基本方針2(7)	<p>2. 「海の学校」を設立して総合的に「海」を学び、親しむマリネンシップを育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海を知る（知識）。船舶機関を学ぶ。航海技術にふれる。 ・漁具を学ぶ。さまざまな漁をする。 ・養殖栽培技術を学ぶ。水産物を加工販売する。 ・将来的に魚家（漁師）を育成する。 	<p>ご指摘の内容については、関連が考えられる基本方針2(6)の主な取組である「大船渡市魚市場等の機能強化による水産業を核とした魅力の向上」の中で、総合的に検討して参ります。</p>
6	基本方針2(7)	<p>3. 総合的な「海の公園」を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧須崎川近辺に「海の公園」を設置する。 ・マリンスポーツの拠点設備機能を持つ。 ・「海」と「陸」の人間生活をリンクさせる。 ・「海」と「陸」の物流交易をはかる。 ・「海からの来訪者」をコンフォートする（設備）を設置する。 ・「海のミュージアム」（三陸の海・水族館）を設置する。 ・船着場を整備する。 ・釣り場（生けす）を整備する。 	<p>ご指摘のとおり、大船渡観光については、魅力づくりが不可欠であると認識しております。</p> <p>観光振興を推進するため、ビジョン案に掲げた当市の現状及び課題を踏まえ、基本理念に基づく将来像の実現に向けて各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。</p>
7	基本方針4(5)	<p>4. 和船技術の象徴「気仙丸」の動態保存をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙の優れた船大工に学ぶ。和船の材料（気仙杉）を知る。 ・和船（小船）を造る。和船を走らせ（漕ぐ）る技術を体得す ・伝統的造船技術（和船）の継承者を養成する。 ・日本の造船技術（「気仙丸」）を伝承する。 ・「気仙丸」の帆走（動態検証）を試みる。 ・動態保存のほう方法を検討する。 ・（他の事例に学ぶ。神奈川県NPO「やまゆり（木造ヨット）」保存会が活動中である。「やまゆり」は東京オリンピックのヨット競技・江の島会場の時の本部艇として建造されたものをNPOが払い下げられて動態保存を続けている） 	<p>ご指摘の内容については、関連が考えられる基本方針4(5)の主な取組の「歴史資源を活用したフィルムコミッション展開の検討」の中で、気仙丸の動態保存の可能性についても、今後、総合的に検討して参ります。</p>

2 市政モニター（10件：21項目）

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
1	計画全体	<p>大船渡のイメージにある「穏やか」、「落ち着きがある」、「心が安らぐ」そんな街に、観光地としての発展性はゼロではないでしょうか。</p> <p>豊かな食も無ければ、有名な文化財も無いように思えます。リアス式海岸なんて、海の上から見なければ、どんな形かもわからないと思います。</p> <p>何か1番にでもなれる事がなければ観光客は来ないのではないのでしょうか</p>	<p>今後、本市の観光が大きく発展していくためには、今一度、地域の魅力を見つめ直し、自分たちが住んでいるまちに誇りを持ち、訪れる人々に本市の本質的な魅力を伝え、交流人口の拡大を図るとともに、滞在時間を増やす仕掛けづくりが重要となっております。</p> <p>このため、大船渡の特色を踏まえつつ、観光振興を推進するため、ビジョン案に掲げた各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。</p>
2	計画全体	<p>三陸鉄道が全面開通した後の大船渡市が素通りの街にならなければ良いかと思っています。そのためにいろいろと考えている様ですし、力を入れていかなければと思っていますところ。</p> <p>多くの人に大船渡市に関心を持ち、来大してもらうために、震災時、その後に大船渡にお手伝いで入ったボランティアの人達、いろんな関わりを頂いた人に、その後の大船渡の復興と観光の資料を定期的に刊行して頂ければ良いし、大船渡市として旅行会社にセールス・アタック活動に力を頂きたいと思えます。市民もその後、押しの行動が必要です。</p>	<p>今後とも交流人口の拡大に努めて参りたいと考えており、ビジョン案に掲げた当市の現状及び課題を踏まえ、基本理念に基づく将来像の実現に向けて各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。</p>
3	基本方針3(3)	<p>「大船渡市観光ビジョン」をじっくり読ませてもらった。</p> <p>市はじめ関係者の熱意や努力には敬意を表すも、何か大きな柱が抜け落ちている気がする。「交通アクセス」の悪さである。</p> <p>もし貴男が首都圏に住んでいると仮定し、新幹線で一関で降り、大船渡線で気仙沼、さらにBRTに乗り換え、乗り継ぎ時間まで合わせたら三時間半～四時間の行程である。（これは東京-大阪より遠い）</p>	<p>ご指摘の内容については、基本方針3(3)の「『遠い』というイメージを改善し、観光交流を促進する交通アクセスの整備」に基づき、鋭意取組んで参ります。</p>
4	基本方針1(2), (3)	<p>ようやく大船渡に着いたと思っても、「大船渡でしか食べれない物」がどこにあるのか、値段はいくらなのかサッパリ判らない。</p> <p>地元の人と話して聞こうとも、都会にはうじゃうじゃあるチェーン店の喫茶店さえ一つも無い。レストランも無い。ファミレスも無い。歩き疲れても、休むところさえ一つも無い・・・無い無いづくしだ。</p> <p>そんな陸の孤島のような所に貴男は（観光客が）わざわざ行きますか？私なら絶対行かない！</p>	<p>昨年度、東北地方の旅行者を対象にしたアンケート調査によりますと満足度を高めた要因としては「食」が一番目にあげられました。</p> <p>また昨年度、大船渡市、宮城県、首都圏に暮らす方々へ「大船渡の魅力を感じるポイント」を調査したところ、『おいしい食べ物や地域に根ざした食文化』を魅力的に感じております。</p> <p>このことから、基本方針1に掲げる「海と山の食文化に根ざした『食』の魅力創造」に基づき各種施策に取り組んで参ります。</p>
5	基本方針3(3)	<p>さてならばどうするかと言えば、「新幹線とのアクセスの改善」である。大船渡と水沢江刺又は一関を一時間半程度で結ぶ高速横断道路の建設に尽きる。</p>	<p>ご指摘の内容については、基本方針3(3)の「『遠い』というイメージを改善し、観光交流を促進する交通アクセスの整備」に基づき、一般国道397号の改良整備について、県への要望を継続して参ります。</p>

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
6	基本方針4	<p>消滅都市にならない為にも、大船渡、陸前高田、住田町、奥州市、一関市が将来を見据えて結束し、全市民の署名を集め、関係県会、国会議員に総招集をかける位の行動を起こさなければならないと思う。これなくしてはすべてのビジョンは泡のごとく消えること必定であろう。観光客も来ないし、企業も来ない、大学を卒業した若者達もこんな何もない故郷に帰ろうとは思わないだろう。</p> <p>都会には魅力が一杯ある。それに利便さが違う。レベルが違う。ハッキリ言えば「大船渡市観光ビジョン」は観光客に来てもらいたい側からの一方的な願望であり、来る側からのものではないということである。</p>	<p>人口減少は全国的な問題であります。地方自治体といたしましても、人口を維持し、あるいは減少傾向に一定の歯止めをかけ、持続可能な地域社会を築くためにも、必要な対策を講ずる必要があります。</p> <p>当市といたしましては、被災したまちの再生、子育て支援及び地域産業・経済の振興に重点的に取組んで参ります。</p> <p>特にも、交流人口の拡大、地域経済の活性化につながる観光振興への期待はますます大きくなっており、当市においても策定する観光ビジョンに基づき、各種施策に積極的に取組んで参ります。</p>
7	計画全体	<p>送付いただきました資料を読ませていただきました。三陸沿岸地域も日本ジオパークに認定され、新しく整備された碁石海岸も益々注目され、たくさんの観光客を待っています。</p> <p>私など言える様な者ではないですが立派な観光ビジョンが出来上がってすごいなあと思いました。震災後で大変と思いますが進めていってほしいものです。</p> <p>私達市民も今まで以上に市の魅力に関心を持ち、お客様に気持ち良く接し、今までより長い時間を大船渡で過ごしていただける様、心して過ごしていきたいと思っております。</p>	<p>今後、本市の観光が大きく発展していくためには、今一度、地域の魅力を見つめ直し、自分たちが住んでいるまちに誇りを持ち、訪れる人々に本市の本質的な魅力を伝え、交流人口の拡大を図るとともに、滞在時間を増やす仕掛けづくりが重要となっております。</p> <p>観光ビジョンの推進に当たりましては行政と関係団体、観光事業者及び市民の方々が一体となって取り組む必要があります、一層のご理解とご協力をお願いいたします。</p>
8	計画全体 基本方針3(3) 基本方針5(7)	<p>従来からの取り組みで全体の事は整えられつつあると思われませんが、まず市民が”まち”を知ることであります。</p> <p>1 市の取り組みを知らせる会を開催して、”観光”についてのワークショップグループを募集する。</p> <p>目的:①従来の推進していることが、来訪者の目標に合っているかを確認する。</p> <p>②モニタリング ツアーが楽しめるものかを確認</p> <p>③重点開発の確認 素人目線が大事</p> <p>大きな事では、水沢区からの利便性と縦貫道路での市への導入方法をハードを含めアクセスの方法の告知を総合的に考える。</p>	<p>ご指摘の内容については、市民の皆様が参画し、市を含めた観光関係者と一体となって取り組んでいただけるよう、第5章推進体制に文言を加筆・修正して、観光施策を総合的・計画的に推進して参ります。</p> <p>また、基本方針3(3)の「『遠い』というイメージを改善し、観光交流を促進する交通アクセスの整備」に基づき、一般国道397号の改良整備について、県への要望を継続して参りますとともに、交通アクセスの改善に積極的に取組んで参ります。</p>

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
9	基本方針4	2 宿泊施設の総合的な利用で大きな利用を期待する。個々の施設の開発はもとより大きなイベントを陸前高田市と連携して進める。個々の施設は小さいので、どう利用していくかを考えることが大切。	ご指摘の内容については、観光振興を図るうえから、気仙広域、各宿泊施設組織間での連携が不可欠と考えております。 このため、基本方針4の「三陸沿岸、県南エリアなどの広域と連携した大船渡の魅力と誘客機会の向上」に基づき、各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。
10	基本方針6(1)	3 観光イベントにするためには市民での楽しみ方が大切。見る観光ではなく参加型の観光を推進したほうがよいと考えている。 市ではマラソンイベントは大きくピーアールはしているが合宿型は考えていないと思える。 合宿施設を設け、スポーツイベントをサポートする合宿所、民宿・(食事・浴場を充実させる補助する方法を考えては。 合宿所と施設をつなぐ交通アクセスの整備等(聞き取り調査で利便性アップ。4号線から離れているため、日帰りではなく中・長期滞在の魅力アップを考える。	ご指摘の内容については、観光客の方のより一層の利便性向上を図るうえから、基本方針6の(1)の主な取組に、「宿泊サービス機能向上の促進の可能性検討」を追加いたします。
11	計画全体	4 復興出来ずにいる土地の有効利用で市の資産の利用を推める。 赤崎町・末崎町は市の復興計画に入っていない。 市はまちづくり構想のプランを募集し、特色のあるスポーツ施設またはイベント施設を利用して、市の景観の向上を図っていくことが大切である。特に復興が遅れているのを強調するのではなく、少しでも取り組んでいることをアピールすることが大切。 陸前高田市に色々な施設が充実することで大船渡市の相対的地位が低下すると考えられる。早く手を打つべきである。	ご指摘のとおり、観光振興の前提として、市全体の復興は不可欠となっております。これらを含め観光ビジョンに掲げた基本方針、具体施策を基に推進していくことが大切であると考えております。 今後とも観光振興を推進するため、市民の皆様のご理解とご協力を頂きながら、ビジョン案に掲げた各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。
12	計画全体推進体制	推進体制は、上から目線で市民の声が反映されず大船渡市で生活を営む方々の創意・工夫や協力の心意気が感じとれません。 市民のみなさんの声や心をつかみ後押しをするという形での推進体制にしていきたいと思います。	ご指摘の内容については、市民の皆様が参画し、市を含めた観光関係者と一体となって取り組んでいただけるよう、第5章推進体制に文言を加筆・修正して、各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。
13	その他	れすとらん「海」の電話番号について	ご指摘のとおりであり、行政はもとより、おもてなしができる市民・事業者の意識改革と実践の促進に取り組んで参ります。

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
14	基本方針1(3) 基本方針2(7) 基本方針4(3)	<p>当市の観光振興を図る上で最も必要と思われる事は、観光の目玉となる施設を新設される事であると思います。資本がなければ夢絵空事となってしまいますが、夢が実現する事になれば、その時はその施設を核としてお魚センターの拡張(八食センターの様に)とか、かき小屋(ホタテバーベキュー小屋を兼ねる)の増設等の観光関連施設を充実させたり、ジオパークを活用したり…。そうすれば旅行ツアーに当市の観光資源が組み入れやすくなるなど、様々な方策や波及効果が生まれてくるのではないかと考えています。</p> <p>大船渡市の観光振興には大きな可能性があると思うので実現していただきたいです。</p> <p>施設の内容例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジブリパーク(風の谷、たたらば、トトロの家) ・大水族館 ・海中歩道 	<p>ご指摘のとおりと考えております。</p> <p>観光ビジョンの中では、大船渡地区津波復興拠点整備事業の中で大船渡を訪れた人が必ず立ち寄りたくなる大船渡の多彩な「食」や「海」の魅力を満喫できるシンボルスポットの形成に向けて、整備を推進することとしております。</p> <p>また、日本ジオパークに認定された『三陸ジオパーク』を構成するジオサイトとして、市内には5つのサイトが設定されており、それらの活用についても検討することとしております。</p>
15	計画全体	<p>1 資料を見て盛りたくさんの施策、項目数に驚きました。総花的に思えました。重点施策を絞り込み、集中して取り組むのが効果的ではないか。</p> <p>1,2項目を集中及び継続してその成果を検証する。実施期間の26年～32年(7ヵ年)で取組む施策を1や2個に絞り込んで取組み成果を実証する。</p>	<p>選択と集中、そしてPDCAサイクル(「計画⇒実施⇒検証⇒改善」の循環検討方法)の考え方で各種施策を推進することは、重要な視点だと考えております。</p>
16	計画全体	<p>2 継続性と日常生活と住んでる市民生活が豊かになる為の施策と一致しなければ、将来的観光の目玉とならない。</p> <p>市民が実感でき、日常化された内容でなければ観光は育たないと思う(一時的なイベントは除く)。</p> <p>市民生活に根ざすことへの永続的な施策の取組みが必要なのでは。</p>	<p>ご指摘のとおり、観光振興に当っては、市民の皆様が今一度、地域の魅力を見つめ直し、自分たちが住んでいるまちに誇りを持ち、訪れる人々に本市の本質的な魅力を伝え、交流人口の拡大をはかることが重要となります。</p> <p>観光ビジョンの推進に当たりましては行政と関係団体、観光事業者及び市民の方々が一体となって取り組む必要があり、一層のご理解とご協力をお願いいたします。</p>
17	計画全体	<p>大船渡市観光ビジョン(案)を拝見させていただいて大船渡市のイメージが「穏やか」「落ち着きがある」「心が安らぐ」「温かい感じ」「親しみやすい」などといった観光客の方々にとっては、ゆったりとして、どちらかと言えば良い印象が強いのではないかと思います。</p> <p>そのイメージを崩さないように観光が進められていけば、観光客の増加にもつながるのではないかと思います。</p>	<p>観光客が抱いているよい部分のイメージを参考として、観光振興で大切にしたいこととして捉えて参ります。</p> <p>今後とも、大船渡の特色を踏まえつつ、観光振興を図るため、ビジョン案に掲げた各種施策を総合的・計画的に推進して参ります。</p>

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
18	宿泊施設PR	大船渡市には、豊かな海の幸が豊富ですし、三陸海岸特有のリアス式海岸で景観等を楽しむことが十分できると思うので、新しくオープンした大船渡温泉（日帰入浴を利用したが、露天風呂からの眺めは最高です）やその他の宿泊施設をもっともっと利用した観光ビジョンに期待します。	当市では、三陸の海を眺めながら宿泊できる施設は、複数ありましたので、ビジョンのp57の「公式ホームページの拡充」、「ツイッター、フェイスブック等SNS活用による情報発信」、「スマートフォンに対応した観光案内アプリ等の開発と各地域の顔や表情が見える観光案内マップの充実」の取組を実施する中で、宿泊施設からの海の眺めや、食事内容についても情報発信して参ります。
19	吉浜地区の整備	もう一つの観光スポットでもある復興のシンボルの三陸鉄道南リアス線を活用した、列車移動での「震災学習列車」の運行は、素晴らしい企画だと思います。その反面、例えば吉浜地区の「奇跡の集落」としていろいろなところで、取り上げられて、観光客の方が吉浜駅で下車して海岸の方へ下がって行くのをたまに見ますが（津波石もあるので）、すぐに駅に戻り、次の列車の時間まで駅のまわりをブラブラしているみたいです。 観光したくても案内等が整備されていない為、駅から移動することが出来ないのではないかと思います。	三陸鉄道の待ち時間の楽しみや駅からの移動については、ビジョンp43の主な取組の「JR大船渡駅周辺地区や三陸鉄道（南リアス線）の駅でのレンタサイクルの導入、地域資源をめぐる小さな旅の検討」と、p45の主な取組の「復興過程・暫定整備を考慮したサイン等観光案内の推進」、「観光サインの検討」の中で取組んで参ります。
20	市民参加	今回 観光ビジョンをみて、初めて知る観光への取組みなどもたくさんあり、私だけでなく、他の市民の人達にも知ってもらいたいと思いました。・・・ ご当地料理を味わう機会を、イベントだけでなく自分達で足を運び創出してほしいです。 今回観光ビジョンを見て、始めて知る観光への取組などもたくさんあり、私だけでなく、他の市民の人たちにも知ってもらいたいと思いました。 観光客だけでなく、せっかく美味しい海の幸があるのだから、地元の方々もご当地料理を味わう機会を、イベントだけでなく自分たちで足を運び創出してほしいと思います。	今後、本市の観光が大きく発展していくためには、今一度、地域の魅力を見つめ直し、自分たちが住んでいるまちに誇りを持ち、訪れる人々に本市の魅力を伝えることが重要であると考えております。 観光ビジョンの推進にあたり、市民の皆様の協力が欠かせないことから、ビジョン策定後も広報・周知に努めて参ります。

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
21	商店街	<p>盛町の商店街の活性化 3.11後、空き店舗を貸して欲しいと沢山の方が盛の店を訪問していましたが数件しかうまった所はありません。私が思うには水回り（トイレ等）の設備がないこと、表の方が空いていても裏に住んでいるから、トイレの共同がむずかしいのです。軽井沢のように、2ヶ所位、有料トイレ（ワンコイン内）を作り盛中央通り商店街～オレンジ通り～東町一番街をめぐる策（イベント）・木町市場会社も含めて昔からの盛町商店全体の活性化を望みます。川越のような回遊できるといいですね。 それに加えて早池峯神社・五葉山～各地区にある守り神の場所を訪問するというイベント等などいかがでしょうか。又、200年位続いている木町市場が高齢化しているので若者にも来てもらえるような企画を市と市場会社とのコラボで例えば月に1回は日曜日と重なるので、その時、ヨサコイ、ガレージセールそのイベント情報は東海新報などで告知する。いかがでしょうか？ 盛町七夕、お天王さま、8/20盆の盛川にてとうろう流しなど夏祭りに浴衣まつりをドッキング、呉服店(まちがってもイオンなどに協力依頼しない、地元の店や地元で着付教室をしている方などにも声がけをする)などに協力してもらい、格安の浴衣の販売、必要な下駄、バックなど無料で着付をしてあげて町めぐりをす。 また、買えない人達にはワンコインで貸し浴衣、空き店舗で着付けをしてあげる。また、皆さんの持っているタンスの中に眠っている浴衣を提供してもらい貸し出しをする。また、来年のために貸出し浴衣のクリーニングも地元のクリーニング屋さん頼む。全てに渡って地元商店を使う。</p>	<p>これについては、ビジョンp38の具体施策（7）「みなとまち」と「宿場町」の暮らしが垣間見える「まちなか観光」での取組や、p44の主な取組の「モデルコースを楽しく伝えるパンフレットの作成」の中で総合的に検討して参ります。</p>